

住宅の断熱化と居住者の健康への影響に関する全国調査 第7回報告会

～国土交通省スマートウェルネス住宅等推進事業調査に基づく、「生活環境病」予防の医学的エビデンス～

一般社団法人 日本サステナブル建築協会は、国土交通省「スマートウェルネス住宅等推進事業」において、住生活空間の断熱性向上が居住者の健康に与える影響を検証する全国調査を2014年度から2018年度まで担ってきました。2019年度からは長期コホート（追跡）調査を担っているところです。

全国2000世帯・4000人の測定を伴う調査の成果は、現時点までに医学論文10編、医学解説論文1編として刊行され、住宅の断熱化による「生活環境病」予防の医学的エビデンスとなっています。さらに、断熱改修5年後調査においても興味深い成果が得られつつあります。

世界保健機関WHOは、2018年11月に「WHO住宅と健康ガイドライン」を公表し、冬季室温18℃以上、住宅新築・改修時の断熱工事などを各国に勧告しました。わが国では「住生活基本計画」（2021年3月閣議決定）、新築住宅の断熱等省エネ基準適合を義務化する「建築物省エネ法」（2022年6月改正）、欧米並みの断熱等級7までの創設（2022年10月施行）などとして対応されてきています。

住宅に携わる方はもちろん、住宅の温熱環境と健康にご興味をお持ちの方、断熱改修をご検討の方など、多数の皆様のお越しをお待ち申し上げます。

開催概要

- 主催：一般社団法人 日本サステナブル建築協会
後援：一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター
日時：2023年2月14日（火）13:30～17:00
方法：Zoomによるウェビナー方式 定員：400名 参加費：無料（事前登録制）
＜お申込みはこちら＞ <https://www.jsbc.or.jp/seminar/index.html>

プログラム（予告なく変更になる場合がございます）

第1部 13:30-15:20

1. 「生活環境病」予防の医学的エビデンスと改修5年後追跡調査速報（90分）

- スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 幹事 兼 調査・解析小委員会 委員長／
慶應義塾大学 理工学部 教授 伊香賀俊治 氏
スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 調査・解析小委員会 幹事／
北九州市立大学 国際環境工学部 准教授 安藤真太郎 氏
スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 調査・解析小委員会 委員／
東京工業大学 環境・社会理工学院 助教 海塩 渉 氏
スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 調査・解析小委員会 専門委員／
住宅団体連合会推薦委員（積水ハウス） 伊藤 真紀 氏

2. 質疑応答（20分）＜休憩10分＞

第2部 15:30-17:00

1. 挨拶（10分）

- 国土交通省 住宅局 安心居住推進課長 上森 康幹 氏
スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 委員長／
一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター 理事長 村上 周三 氏

2. 「生活環境病」予防の医学的エビデンスと改修5年後追跡調査の概要（20分）

- スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 幹事 兼 調査・解析小委員会 委員長／
慶應義塾大学 理工学部 教授 伊香賀俊治 氏

3. パネル討論「生活環境病予防にどう取り組むか」（60分）（司会 伊香賀俊治 氏）

- スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 委員長／
一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター 理事長 村上 周三 氏
スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 副委員長／

- 自治医科大学内科学講座循環器内科学部門 教授 荻尾 七臣 氏
公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター顧問／前消費者庁長官 伊藤 明子 氏

4. 閉会